

六中学校運営協議会だより

令和4年12月22日

第4号

市川市立第六中学校学校運営協議会



令和4年度 第4回学校運営協議会開催

12月10日(土)に令和4年度第4回学校運営協議会が六中の会議室で開催されました。本会議では、学校評価アンケートの報告、令和5年度の教職員の任用について議論をしました。協議会委員の方々から様々な意見などをいただきました

【第4回学校運営協議会】

- 1 学校長あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 協議
 - ①学校評価(後期)の集計データについて(校長)
 - ②教職員の任用について(校長)
- 4 報告
 - ①学校運営状況・行事について(教頭)
 - ②生徒の様子について(生徒指導主任)
 - ③各委員より
- 5 その他

協議の冒頭、立原会長のお話の中で、「一体感をもって六中を見守っていきたいですね」というお言葉をいただき、学校運営は、学校、保護者、地域が連携して子供たちの成長を温かく見守っていくことが大切であることを再認識し、話し合いをスタートしました。



会議の中で委員の方々から いただいたご意見

委員の皆様からいただいたご意見を一部お伝えします。

- 学校評価について、保護者からいただいた意見の分析をしっかりと行い、次に繋げていただきたい。
- 学校評価について、一つ一つ確認をさせていただき、次回の協議で話し合います。
- 留守番電話の効果は、教職員の負担を軽減しているのかどうか。
- 教職員の欠員の話をよく聞くようになった。コロナの状況もあり、休みを取る先生がいた時に学校として人数は足りているのかが心配です。

令和5年度の教職員の任用について

- 若い人がハツラツとしている上で、丁寧さも兼ね備えた職員が良い。
- 生徒の考え方など多種多様な社会になっているので、柔軟に対応できる職員が良い。
- タブレット学習を重点的にできる専門性のある職員が良い。
- 若い先生が多い方が生徒も活気が溢れて良い。その一方、生徒との距離感は大切にしてほしい。
- 担任の先生がいない時にも、そのクラスにすぐに対応できるように職員数が増加するとよい。
- 現場にいる先生方が、一番欲しいと思う人材が一番適切な任用だと思う。
- 先生方の負担が多いため、様々な要望を受けとめられるタフな先生が良い。
- 1つの事に信念をもって取り組める先生が良い。
- ICTが進んでいるので、それに携われる先生が良い。
- 昨年の内容と根本的には変わらないが、要望する順位をもう一度、精査していきたい。

その他にも様々なご意見をいただきました。地域の多くの方から六中生徒を見守っていただいている温かいメッセージでした。

学校運営協議会の報告② 生徒の様子について

1 学年の様子を報告



予餞会の話合い

2 学年の様子を報告



道徳の授業

3 学年の様子を報告



キャリア教育